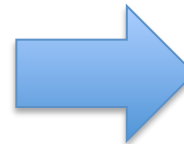


# 2017寒冷期 デリバリーアクションプラン

2016年10月6日  
デリバリー推進部

9月9日、気象庁はラニーニャ現象が発生していることを発表。今冬は厳しい寒さが予測される。寒さと大雪の直接的な関連はないが、降雪日が増える傾向にあると考えられる。



暖冬だった昨年同時期においても、降雪によって■■■■万円もの機会損失が計上された。(デリバリー非稼働のべ46営業日×平均売上で計算)



降雪日数にもよるが、おおよそ■■■■万円、最大で■■億■■■■万円もの機会損失が予測される。



**大雪を想定した強靱な新デリバリー体制の確立が急務**

## ドミノジャイロの代替案A



- ×20台で4,700万円の費用。
- ×リース期間が最低3年なので寒冷期以降は維持費が無駄。
- ×スタッフの普通免許が必要。

### 4WD軽自動車の場合

O社／月額リース料  
46,872円×36カ月

3年間総額  
1,687,392円

S社／自動車保険料  
219,270円×3年

3年間総額  
657,810円

1台あたり費用(3年)  
2,345,202円

👉コスト的、運用的に現実的ではない

## ドミノジャイロの代替案B



- ×ナンバーを取得できないため公道走行は不可。
- ×任意保険に加入できない。
- ×保安部品をつける改造で小型特殊車両登録できるが法定速度15kmまで。

### スノーモービルの場合

N社／月額リース料  
180,000円×3カ月

3カ月総額  
540,000円

S社／自動車保険料  
非対応

3年間総額  
非対応

1台あたり費用(3カ月)  
540,000円

👉 制約が多くデリバリーに不向き。

## ドミノジャイロの代替案C



トナカイ

トナカイ費用

# TBD

北海道のトナカイ牧場、動物プロダクションなどをリサーチ中。寒冷期間中1頭30万円で20頭の手配を予定。

- ◎軽車両登録なので免許不要。
- ◎最高時速80キロの高い運搬能力。
- ◎寒冷期間だけの契約が可能。
- ◎トナカイを使うことでの話題性、PR効果。

👉現実的なデリバリー手段として検討できる。



# デリバリーイメージ



# ピザBOX搭載案

A案: ジャイロのものを流用



通常イメージに近くコストも掛からないが揺れの問題が想定される。

B案: バイク用の出前機を改造

@50,000円程度



トナカイに負担をかけない取り付け方法についてはメーカーと相談が必要。



# トナカイの課題とトレーニングプラン

## 想定される課題

- 1) 安全にデリバリーすることができるか。
- 2) どのくらいの距離までデリバリーできるか。
- 3) 犬や猫など他の動物に遭遇した場合どうなるか。



北海道の自動車学校跡地にて飼育員の監修のもと、実際の道路環境、交通ルールを想定したトレーニングを行う。